INFORMATION

LECTURE&EVENT

劇団逆境ＶＡＮＤ演劇公演「偽　薬」

人間の内面をテーマに芝居をする劇団逆境ＶＡＮＤの９回目の公演。
○６月27日(土)19:00～
　28日(日)13:00～、17:00～
○前売り¥1500／当日¥1700
○劇団代表　℡06-846-6077

箏曲アンサンブルちくし「コンサート℡」

筑紫曲の演奏をするグループの筑紫曲と他の曲を交えての演奏会。
○７月11日(土)13:00～

よしもと恋物語PRESENTS「トランス」

お笑いコンビを中心にしたウィットにとんだ舞台。
○７月12日(日)16:00～、19:00～
○¥1000
○Office•Ai　℡010-959-2570

大阪市立婦人会館「天王寺歴史散策ボランティア養成講座(公開講座)」

天王寺の歴史散策コースを考え、マップ作りに取り組む同館の講座の最終回を公開講座として、應典院で開催します。講師は、秋田住職とルポライターの野寺夕子さんです。
○７月14日(木)13:30～
○無料
○大阪市立婦人会館　℡06-772-0061

【新入会員ご紹介】（1998年６月25日まで）

４月25日以降にご入会いただいた方々です。ありがとうございました。
○一般会員
【兵庫県】
森田道太郎　西宮市

○法人会員
【大阪府】
市川　仁美　岸和田市

以上２名

演劇集団Ｉプロジェクト演劇公演「幕末烈女」

幕末、坂本龍馬への思いをかけて、新撰組沖田総司に挑んだ女の物語。
○７月19日(日)13:00～、17:00～
　20日(祝)13:00～、17:00～
○前売り¥1500／当日¥1800
○Ｉプロジェクト　℡0724-36-1938

劇団atelier THANK-X演劇公演「夏がはじまる頃に」

劇団アトリエ・サンクスの７回目の公演。
○７月24日(金)19:00～
　25日(土)15:00～、19:00～
　26日(日)13:00～、17:00～
○前売り¥2500／当日¥2800
○アトリエ・サンクス　℡010-736-6572

劇団　鋼鉄猿廻し一座「断食芸人」

別役実作「獏」より、サーカス団をモチーフにした物語。
○８月１日(土)19:00～
　２日(日)13:00～、17:00～
○前売り¥1600／当日¥1800
○中村　℡06-741-1366

アジア地蔵盆祭り実行委員会「アジア地蔵盆祭り」

日本の地蔵盆の風味たっぷりに、子どもたちに「ふれあい、気づき、学び、感動の場を」と企画されたもの。アジアの遊び体験あり、地蔵盆の語りあり、国際色あふれる催し満載のお祭りです。
○８月22日(土)14:00～18:00
○無料
○應典院　℡06-771-7641

第10回寺子屋トーク「子どもの心と脳を育てる」

いま育つ子どもの「こころ」はどこにある？
幼児の感性を育てる「あたま」のメカニズムとは？
前京都大学霊長類研究所々長の久保田競さんを講師に、大脳研究最新の知見を交えながら、たくましい子どもに育てるための育児を考えます。
○７月２日(木)10:00～12:00
○一般¥1000、会員¥500
○寺町倶楽部事務局　℡06-771-7641

「祈りの踊り」上映実行委員会 映画「祈りの踊り」

'68年から津軽民謡を素材にした踊りや創作活動を続けている「大道芸人」ギリヤーク尼ヶ崎。その街頭公演30周年を記念した映画「祈りの踊り」の大阪先行ロードショー。本人の舞踏とゲストを交えてのトークもあります。全７回上映。
○８月28日(金)～30日(日)
　時間はお問い合わせください
○¥1500均一
○應典院　℡06-771-7641

【以下は詳細未定です】「應典院邦楽ライブⅢ」

○８月９日(日)

「２０代サミット」

○８月15日(土)・16日(日)

サリュ VOL.8　應典院寺町倶楽部のニューズレター

発行日　1998年６月26日（偶数月発行）
編集長　金下玲子
編集スタッフ　池野　亮、綾田直子

発行所　應典院寺町倶楽部
〒543-0076大阪市天王寺区下寺町1-1-27
TEL06-771-7641
FAX06-770-3147

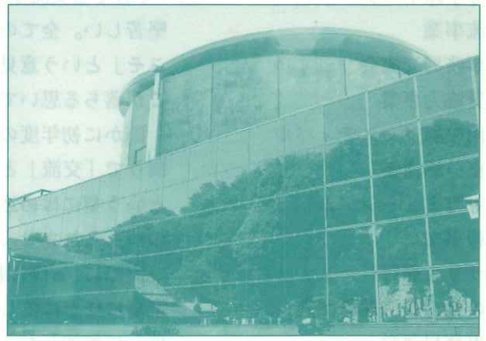
應典院寺町倶楽部のニューズレター

Salut

［サリュ］
フランス語で救いの意

1998 JUNE
vol.8

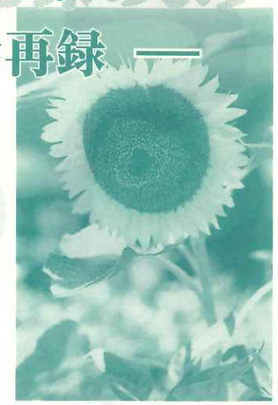


最近、少しずつ寺町倶楽部のいろんな顔が見えてきたように感じています。それは会員の方々の声や顔だったり、これからの寺町倶楽部を仲間と語り合う中で見えてくる顔だったり、催しなどで應典院に初めてやって来た人を通して発見する意外な顔だったり。－どこから見ても同じに見える球ではなくて、いろんなものが集まって、でこぼこしている－一年過ぎた寺町倶楽部のかたちです。あなたが関わることで生まれる、寺町倶楽部や應典院の新たな顔を、今年も一緒につくっていきましょう。

「参加」「共感」2つの交流を深めよう

― 理事会再録 ―



寺町倶楽部の一年とこれからについて意見交換をする理事会を、６月11日に開きました。参加者は田村精造理事長、西島宏副理事長（兼事務局長）、理事の川口圭子さん、栗本智代さん、三好宏明さん、吉﨑中さん、そして参与の秋田光彦住職の７人。事務局からは池野亮が出席しました。昨年度を振り返って厳しいご意見もいただきましたが、やはり「交流」がこれからの寺町倶楽部のテーマになりそうです。今年度の具体的な事業案は７月15日開催の総会でお知らせしたいと思います。

初年度の活動を振り返って

初年度の活動は前号（サリュ第７号）でも振り返りましたが、それぞれを事業別にまとめると以下のようになります。

１）主催・共催事業
- 橋口譲二写真展
- 舞台芸術祭
- 寺子屋トーク

２）交流事業
- 事務局交流会

３）協賛協力事業
- 南の風フェスティバル
- 自分感謝祭
- 寺町ミュージアム

４）広報事業
- サリュ発行

５）その他、維持運営関連
- 事務局運営
- 総会の開催

理事会では、各活動の反省、会計収支の検討を踏まえ、本年度の活動計画に関し、２時間近い活発な討議が行われました。

本来なら議案毎に詳細を再録すべきところですが、それではこの紙面には収まり切りません。そこで、どのような方針で本年度の活動を進めるのか、という視点で討議の要点をまとめてお伝えいたします。

キーワードは交流

初年度活動の反省として、全理事が挙げたのが「会員相互の交流が少なかった」こと。

交流会の回数を増やそう、もっと気軽に集まろうという議論に始まり、「そもそも交流事業という考え方が堅苦しい。全ての事業は交流あってこそ」という意見には、目からうろこが落ちる思いでした。

確かに初年度の活動はいささか縦割りで「交流」という言葉を「事業」という型にはめ込んでしまっていたのかもしれません。

実際に、寺町倶楽部の会員構成は家事に仕事に忙しい40～50代が多く、催しに参加したくても時間の制約でままならない事も多いでしょう。そのような会員の方々のためにも、例えばこのサリュを読むだけで「寺町倶楽部に参加しているという実感」を感じてもらえるような交流の形を作り上げることが大切なのだと思います。

二つの事業形態

このように捉えると、事業方針も明確になってきます。

まず、メインとなる主催・共催事業は「参加型」の催しといえるでしょう。これは会員が参加するというだけでなく、非会員の方が寺町倶楽部の活動に参加することで、寺町倶楽部という存在を知り、ひいては入会・活性化してゆくための直接的な交流です。初年度の主催事業は、寺町倶楽部と会員の存在をアピールする努力にやや欠けていたといえるかもしれません。理事会でも「寺子屋トークの講座後に交流会を開くなど、もっと交流を活性化する工夫を」などの提案が出されました。

一方で協力協賛事業とは、いわば「共感型」といえるでしょう。参加したくても制約のある会員の方々に替わり、会として様々な活動に参加協力する形です。初年度活動では、会員がボランティア協力した催しを協力事業と位置づけてきましたが、一歩進んで、寺町倶楽部として共感できる活動を探し、助成し、活動報告を受け取るような事業があってもいいように思われます。



直接的に交流する参加型も、間接的に交流する共感型も、会員のみなさんすべてがもっと寺町倶楽部という手触りを感じていただけるように、本年度の事業計画を立案してゆこうと思います。

地域活動のサポート

事業の方針をこのように定めたとしても、では実際にどのような内容の主催、協力を行うのか。理事会の討議でも、この点に関して、多くの時間が割かれました。

「演劇祭は、地域の文化祭のように、無名の人の表現活動をサポートできないか」「地域に根ざした活動に協力できないか」「地元の商店に協力してもらって、写真の撮り方やワインの選び方などの講座は開けないか」など、應典院という会場の地域性をもっと活用するためのアイデアが多数提案されました。

具体案に関しては総会までに事務局でプランをまとめる運びとなりましたが、特に協力事業の選定には、「地域」というキーワードが意識されるべきかも知れないと考えています。この点に関しては、総会において諮りたいと思いますので、みなさまのご意見をお寄せくださいますようにお願いします。

会員数の拡大に向けて

しかし、どのような事業でも、予算の問題はついてまわります。

寺町倶楽部の全事業は、会費収入だけで賄われます。また、全会員の３分の２が５月更新（４月末振り込み）会員であり、会計年度の関係上、年度活動計画は５月始めの会費収入ですべてを策定する必要があります。このため、継続されない会員が増えると、事業計画に大きな支障が発生してしまいます。

「なによりも会員数の維持拡大にもっと留意すべき」「主催・共催事業の１回無料参加券など、会員への特典を」「会員の年齢構成に留意して、もっと興味がわくような事業を主催しよう」などなど、具体的なアイデアの提案もいただきました。事務局としても一層努力いたしますが、会員数の維持拡大に向けて、みなさまにもご協力いただければ幸いです。

手探りで進めてきた初年度はあっという間に終わりました。本年度を寺町倶楽部躍進の年にすべく、総会では具体的な事業案として諮りますので、ご協力のほど、重ねてよろしくお願いいたします。

寺町倶楽部総会 開催のお知らせ

下記の通り、寺町倶楽部総会を開催します。初年度事業・会計報告、２年度事業・予算案などについて、審議いただきます。また、今後の活動について、より多くのご意見をお伺いしたいと考えていますので、ぜひ会員のみなさんのご出席をお願いします。

日時：７月15日（水）
午後７時から
場所：應典院
※約１時間で終了の予定です。
終了後交流会を実施します。

EVENT REPORT

■第９回寺子屋トーク



去る６月８日、第９回寺子屋トークを生野学園高校校長の村山實さんを講師に開催しました。

生野学園高校は、関西で唯一の不登校児が通う全寮制の学校。村山さんは、そこに通う子どもたちの抱えるこころの問題を取り上げながら、「心の教育」のあり方、ひいては家庭教育、家族のあり方についてお話くださいました。

決して他人事ではない不登校など子どもたちの問題に、真剣に聴講する参加者の表情が印象的でした。参加者は84名。



寺町倶楽部を支える 会員継続手続きをお願いします！

寺町倶楽部は５月が新年度で、約７割の方が更新にあたることは、前号でお知らせし、継続のお願いもしてきましたが、６月21日現在でこの継続手続きをしていただいた人数は５割弱です。（表参照）

会員の方々がもっと倶楽部の活動に参加いただきやすいよう、事務局も努力、工夫していかなければならないと思っていますが、倶楽部の事業を支えるのは会費収入です。重ねて会員継続の手続きをお願いします。

今回も更新月のお知らせと振り込み用紙を同封しますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。（６月21日までに更新いただいた方と、98年１月以降入会の方にはお送りしません）

[4月末日で継続手続きが必要な会員数]

一般会員	228名
学生会員	6名
法人会員	19団体
賛助会員	18名

[6月21日現在継続手続きをされた会員数]

一般会員	108名
学生会員	1名
法人会員	7団体
賛助会員	8名

VOICE

前回の川口圭子さんに引き続き、トークサロンの常連である入江克己さんに今回は登場いただきます。昨年後半から秋田住職、事務局の池野と應典院のホームページを作ろうという「思い」を温めている様子。「ホームページ制作の仲間募集」も兼ねたVOICEです。



―應典院との出逢いは？

落慶前のプレトークに参加して、秋田さんの「普通の人と違う」ところに惚れて、その日に倶楽部にも入会しました。秋田さんの前向きな考え、夢を持ってそれを実現していっているところが一番の魅力でした。何回も来た橋口さんの写真展を始め、主催事業はほとんどのぞいています。

トークサロンのメンバーからは「應典院に来るのは（何となく敷居が高いようで）最初は勇気が要った」という声を聞きますが、私はその頃転職というもっと勇気の要ることをしたばかりということもあったのかな、全然そんなことなかったですよ。

―應典院のホームページを作ろうという計画がおありにあるとか

私は毎日通勤時にここの前を通るんです。だから、行こうと思ったら行くことのできる状況が私にはあるんですけど、会員さんの住所とか見てると、かなり遠方の人もいる。そういう人はなかなか来ることができないですよね。そういう人のために何かしたいという思いもあるんです。

具体的にどんな内容のホームページにするかも秋田さんから聞いているんですけど、そこから先に進んでいないんです。協力者がいたらな、と思っているんです。

そこで、ホームページ制作協力者を募集することにしました。

入江さんからの要望は、ホームページはレイアウトやデザインも大事！ということで……

・絵ごころのある人

写真もたくさん入れたい！ということで……

・写真の撮れる人

このような人を募集しています。ご協力いただける人はまず事務局（担当：池野）までご連絡ください。

秋田住職発 應典院掲示板

97年の４月にオープンして１年と２ヵ月、應典院にとって２度目の初夏がやってきました。最初の１年はすべてが初体験、いったい何がどうなるのやら、手さぐりの状態でしたが、さすが２年目になるとスタッフも余裕？が違います。何よりもいまでは、どんなことにでも手伝ってくれたり、参加してくれる、大勢の仲間がいるということ。いちばんの心づよさをいただいた感じがします。

さて、初夏の應典院では、大きなものから小さなものまで、ユニークな催しがいっぱいです。あなたも、ぜひ参加してみてください。（彦）

■春の講座３教室がスタート！



昨年の春に引き続いて、今年も春の講座が一斉にスタートしました。参加・体験・交流を通じて、新しい学びと友だちのネットワークを広げようというこの企画、今回は、「ガーデニング」「写仏」「家族コミュニケーション」の３教室を実施しています。

人気のガーデニングには、30代の女性を中心に20名が参加、本場イギリスの文化にふれながら、一味違うガーデニングの神髄について学びました（写真はコンテナガーデンニング実習の模様）。

今後も應典院では、みなさんのご希望の講座を企画していきますので、どんどんご要望をお寄せください。

■ウォールギャラリー展、作品募集中！

最近の應典院は、作品展などギャラリースペースとして賑わっています。４月18日から２日間、故・石黒佐知子さんの遺作展、５月17日から１週間、ＪＯＣＳの「ときの共有」の写真展を、また６月17日から７月３日まで、武藤貴信さんの写真展「あめりか日和」「ペシミズム日和」を開催中です。

應典院には１階２階あわせて20メートル以上のコンクリート壁面があり、これをプロ・アマ問わず作家に開放しています。照明の設備など十分ではありませんが、自分たちの作品の発表スペースとして、何かおもしろい企画があれば、ぜひご相談ください。

■高校生たちの模擬国連を開催

應典院では、９月15日、府内の高校生のグループＳＧＡ（ステューデント・グローバル・アクション）と共催して「モデル国連」を開催します。ＳＧＡは府立高校の国際教養科の生徒・留学生で組織される交流会で、「やらされているのではなく、自分にできること、やりたいことを自分からやる」をモットーに、自主的な活動を続けています。

今回は、アジアからの留学生たちとともに、應典院に国連会議場を再現、英語と日本語取り混ぜながら10代同士が、「子どもの権利」を中心に語り合います。どなたでも参加できますので、事前に應典院まで。とくに高校生歓迎します。

予告　野田正彰さん、寺子屋トークに出講

精神科医であり作家でもある、京都造形芸術大学の野田正彰さんが、第11回寺子屋トークに出講、教育問題を中心に語ります。９月30日、夜６時半からスタートですので、いまからご予定ください。なお、10月以降には、寺子屋トークのゲストにとびきりの女優さんが登場します。お楽しみに。

参加自由！　應典院、夏のビールフェスタ！

昨年末の自分感謝祭、春の夜桜会に続いて、夏の納涼会といえば、ビール祭り。應典院では、誰でも参加できる、ガーデンパーティーを、以下の要領で開催します。よき仲間と語りあう、友だち探しの、楽しい一夜にしましょう（参加費は安いですが、差し入れと労力奉仕お願いします）。

グループ「おうてんかい」のみなさんによる、肝試しとか恐怖現代怪談とか、夏のお寺にぴったりの企画？も計画中ですので、ぜひお友だちお誘い合わせの上、ご参加ください。

○日　時　　８月７日（金）18時30分～
○参加費　　５００円
　　（持ち込み・差し入れお願い！）
○予　約　　８月５日までに事前にお電話ください。

なお、会場ボランティアの人は、17時以降早めに應典院へ集まってください。

【トークサロン　次回のお知らせ】

どなたでも参加できます。友だち探しの楽しいおしゃべり会です。

・７月８日（水）　19:00～